

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 1 月 1 日

事業所名 コペルプラス 粕屋教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	机の配置などを変えて、人数にあった環境にしている。 個別で行う際、お子様の様子や状況により部屋を選択やスペースの工夫を行い、集中しやすい環境作りを行っている。	今後も、お子様の特性や状況に応じてお部屋やスペースの工夫を行っていく。
	②	職員の配置数は適切である	3	1	療育数によって、指導員が足りないと感じることもある。	今後、状況を見て指導員の人数を増やすかは検討していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	各種表示等はわかりやすく掲示（見える化）するよう工夫している。 2 階建てのため完全なバリアフリー化はされていないが、状況に応じて対応することができており、現時点では問題ない。	今後もよりわかりやすい表示等を検討・工夫していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	療育後、机・椅子・教材は消毒を行っており、掃除も毎日行っている。 療育室内には必要のないものは置かないなどの工夫も行っている。	今後も消毒や掃除等をこまめに行い、より快適に過ごしていただける環境作りを心掛けていく。

業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	療育後の消毒時や毎日のカンファレンスで改善点等を共有・検討している。	今後もより良い業務の進め方を職員全員で検討し改善していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		今後も保護者の方よりいただいたご意見を参考に改善していく、
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	ホームページで公開している。	今年度は、より多くの保護者の方にご確認いただけるよう工夫し、お伝えします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	まだこのような機会がないため行っていない。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	各種研修に参加するよう心掛けています。	今後も各種研修に参加し、職員一人一人がスキルアップできるよう工夫していく。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	利用開始時と定期的にアセスメントを行っている。	今後も継続していく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	アセスメントプログラムがあるので一人一人の状況を図りやすい。 統一したプログラムに沿って行っている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	お子様の特性等に 応じて、同じ課題	

				でも提示方法等を検討するなど工夫して支援している。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	ステージを決めたり変更する際にも全員で話し合うようにしている。	今後も職員全員で検討・共有していく。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	毎月教材は変化している。また、お子様の状況や保護者の方のニーズに応じて教室置き教材も取り入れて実施している、	今後も職員全員で検討・共有していく。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	4	0	現在少しずつ集団活動も取り入れている。	今後もお子様の状況等に合わせ実施できるよう進めていく。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	運動の時間をあらかじめ決めておき、補助に入ることができるようにしている。	今後も安全に療育できるよう、職員間で打ち合わせや共有を行い支援していく。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	疑問に感じたことや保護者の方からの質問・ご要望等は、療育後や毎日のカンファレンスで共有している。	今後も職員間で共有しながら支援していく。
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	療育実施後、記録を作成しており、毎日のカンファレンス時にも確認を行っている。重要なことや気づいた点を記録することで継続した支援や支援方法の改善をすることができている。	今後も職員間で記録をし、共有することで、自分たちの支援について見直しや改善していく。

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		今後、児発管だけでなく、指導員も参加できる機会を見つけていく。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	4	現時点で該当するお子様がいない。	今後該当するお子様が利用開始となる際には対応を行う。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	4	現時点で該当するお子様がいない。	今後該当するお子様が利用開始となる際には対応を行う。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	保育園や幼稚園との連携や、就学相談などの対応を行っている。	今後も必要に応じて実施していく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	就学相談など、必要に応じて連携等を行っている。	今後も必要に応じて連携していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	他施設を利用されている方の事業所とは連携をとれるよう心掛けている。	今後も必要に応じて連携していく。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4		今後、イベントの実施等も含め検討していく。

	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	毎回職員が交代で参加している。	今後も様々な研修に参加し、知識を増やし、地域の他施設との交流を行っていく。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	毎回療育後のフィードバックで保護者の方と振り返りや共通理解ができるようにしている。	今後も保護者の方とお子様の様子・状況を共有し、統一した関わりができるよう努めていく。

保護者への説明責任等	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	1	状況を伺いながら対応を一緒に検討したり、助言を行っている。	今後もこまめに保護者の方からお話を伺い、対応などを一緒に検討していけるよう心掛けていく。
	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に書面・口頭で説明を行っている。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	保護者の方のお悩みやお困りごと等を伺い、職員間で共有、適切な支援や解答がお返しできるようにしている。	今後も様々なご相談をお伺いし、保護者の方が少しでも前向きに子育てしていけるよう、一緒にお子様の様子の共有や統一した支援・対応ができるよう心掛けていく。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	現時点で保護者会等は実施できていない。	現時点では行えていないため、今後は保護者の方が交流できる機会を作れるよう検討していく。
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	ご相談いただいたら、すぐに職員間で対応等を話し合い対応・回答できるようにしている。	今後も様々なご相談やご意見をお伺いし、保護者の方と一緒にお子様の様子の共有や統一した支援ができるよう心掛けていく。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	2	月末には翌月の予定表をお渡しし確認したり、月初めにコミュトレの日程の掲示とご案内をしている。	現時点でお便りなどは発行できていない。今後検討していく。
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	退勤時、個人情報となるものは必ずキャビネットの入	今後も個人情報の管理・取り扱いには十分に注意していく。

					れ施設するよう管理している。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	お子様によっては絵カードやイラストなどを提示し伝えるようにしている。	今後もお子様の状況や特性に合わせた対応を行っていく。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		現時点では行えていないが、今後検討していく。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	年二回、避難訓練等を実施している。	今後は火災や地震以外の訓練等も含め、検討していく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	年二回、避難訓練等をお子様・保護者の方にも参加していただき実施している。	今後は火災や地震以外の訓練等も含め、検討していく。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	1	契約時に、基礎疾患やてんかん、服薬、アレルギーなどについては確認を行っている。	契約時に職員間で確認は行っているが、誰が見てもわかるように一覧などにまとめる等工夫していく。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	事業所内で食品を扱うことがない。	食物アレルギーのあるお子様には、教材によっては保護者の方への確認や別のものに変更する等の対策を行っている。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	記録作成とカンファレンス等で共有を行い、全員で確認をしている。	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	外部の研修等にも参加し、全員研修を行っている。	今後も研修を行い、適切な支援を行っていく。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事	3	1	契約時に同意は得ているが、個別	

		前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			支援計画に記載はしていない。	
--	--	---------------------------------	--	--	----------------	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。